

日本 NPO 学会 第 25 回研究大会 シンポジウム

【市民の力がつくる地域の姿～世界に広がるミュニシパリズムの視点から～】

基調講演

● 講師

岸本聡子さん（東京都杉並区長）

日本大学文理学部社会学科（環境社会学）卒業。2003 年、国際政策シンクタンク NGO「トランスナショナル研究所（TNI）」に就職。世界の自治体や教育機関、市民団体とともに活動。世界各地の公共サービスの民営化の実態と、「再公営化」の事例を調査。2022 年帰国。「住民思いの杉並区長を作る会」からの出馬要請を受け立候補を決意。2022 年 6 月初当選、杉並区で初の女性区長に就任。

● パネリスト

浜田進士さん（特定非営利活動法人青少年の自立を支える奈良の会 理事長、（国連 NGO）子どもの権利条約総合研究所 副代表・関西事務所長）

日本ユニセフ協会職員、国際子ども権利センター、大学教員、自立援助ホームの職員と子ども支援・子どもの権利の関わる実践・研究・都市政策に関わる。子どもは存在しているだけでチカラがある。ひとりの子どもが元気になることは社会を変える契機になると、現場の経験を社会変革につなげるソーシャルアクションにこだわっている。2023 年 4 月より川西市子ども的人権オンブズパーソン就任。

柿野成美さん（法政大学大学院政策創造研究科准教授、公益財団法人消費者教育支援センター 理事 首席主任研究員）

お茶の水女子大学修了後、財団法人消費者教育支援センターに勤務。現在、同センター理事・首席主任研究員を務め、地域における消費者教育の推進に 25 年間かかわる。専門は消費者政策、消費者市民教育、エシカル消費。博士（政策学）。主な著書に「消費者教育の未来—分断を乗り越える実践コミュニティの可能性—」法政大学出版局等がある。

● コーディネーター

山口洋典さん（立命館大学共通教育推進機構教授、特定非営利活動法人きょうと NPO センター監事）

専門は社会心理学。ネットワーク型まちづくり、災害復興、サービス・ラーニングなどをテーマにアクションリサーチを展開する。著書に『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』（法律文化社、共著）など。きょうと NPO センターの設立に参画し、現在は監事の職を務める。